



令和5年度 基本評価調書		所管部局	総務部	所管課	財産課	
施策名	赤れんが庁舎の利用促進			施策コード	0106	
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)B	
関連重点戦略計画等	創生総合戦略 強靱化計画				事務事業数	1
特定分野別計画	重要文化財北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)保存活用計画					
SDGs			総合判定		やや遅れている	
予算額(千円)	R5	1,740,747千円	R4	1,296,798千円	R3	243,644千円

施策目標	<ul style="list-style-type: none"> 道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るとともに、歴史文化・観光情報の発信施設として魅力向上を図る。
現状と課題	<p>(改修工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤れんが庁舎の内部・外部ともに劣化が進んでおり、耐震性も不足していることから、建物の保存等に関する改修工事を行う必要がある。 <p>(利活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで過半を事務室や会議室などの行政庁舎として使用していたが、リニューアル後は北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点として利活用するため、館内の展示や活用方法の見直しを行う必要がある。
前年度二次評価意見	—
対応状況	—

〈主な取組〉

今年度の取組	<p>(改修工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤れんが庁舎の内部・外部ともに劣化が進んでいることから、重要文化財としての適切な保存修理工事を行うとともに、耐震性が不足していることから耐震改修工事を行う。 <p>(利活用等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点として利活用するため、館内の展示等整備に係る設計を行い、施設の魅力向上を図る。 リニューアル後の管理運営は、民間ノウハウを活用するため、指定管理者制度の導入に向けた検討を行う。 赤れんが庁舎改修事業への寄附を募集する。
実績と成果	<p>(改修工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に設置した工事中の庁舎を雨、風から保護する「素屋根」の内部において、屋根の葺き替え、外壁の補修、内装材の補修などの「保存修理工事」やレンガ壁に鋼材を挿入するなど建物全体の耐震性を向上させる「耐震改修工事」を実施した。 仮設見学施設を公開した(R5.5月)により、公開から約2ヶ月間で31,900人が入場するなど、入場者に対して文化財の価値とその保存についての理解を広めることができた。 <p>(利活用等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示等整備に係る設計を実施し、展示内容の検討を行った。 指定管理者制度を導入すること等を定めた公の施設設置条例の検討を行った。 ホームページでの周知など赤れんが庁舎改修事業への寄附の募集を行った。
参考HP①	北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)改修事業ポータルサイト https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gzs/fm/akarengarenewal/top.html
参考HP②	北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)改修事業について https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksb/akarenga.html
参考HP③	

<指標分析> ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	人	H29年度	H30年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
赤れんが庁舎入館者数	目標値		—	—	—	810,000	—	—
	実績値		689,580	695,905				

設定理由 赤れんが庁舎の積極的な活用や魅力向上に向けた取組状況を測る指標であり、課題である建物の保存や活用方法の見直しに向けた取組の成果を測る指標として設定

指標公表時期 毎年調査（閉館中を除く）、4月確定 **出典（根拠計画等）** 北海道総務部調べ

分析（主な取組と成果）

令和元年10月から改修工事のため閉館しており、入館者数の把握が不可能となっている。

指標名②			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名③			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典（根拠計画等）**

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 赤れんが庁舎は重要文化財として国の指定を受けた歴史的建造物であるため、文化財としての価値を損なわないようにリニューアルを進める必要がある。
	(取組) 赤れんが庁舎は重要文化財として国の指定を受けた歴史的建造物であり、改修方法等に関し文化庁とも連携し、改修等を進めることで、適切な文化財の保存が図られた。
緊急性 優先性	(課題)
	(取組)

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	最新年度		
仮設見学施設入場者数	31,900 (R5.6月末)		
分析等			
(課題) 修理現場を公開し、文化財の価値とその保存についての理解を広める必要がある。			
(分析等) 仮設見学公開から約2ヶ月間で31,900人の入場者があり、入場者に対して文化財の価値とその保存についての理解を広めることができた。			a
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
赤れんが改修事業への寄附金額	3,063 (R2)	61,166 (R3)	48,869 (R4)
分析等			
(課題) 赤れんが庁舎の改修工事等には多額の費用を要することから寄附を募る必要がある。			
(分析等) 企業からの寄附については、寄附件数は増加傾向にあるが、寄附金額は年度によって増減している。個人からの寄附件数については、寄附件数・金額ともに増加傾向にある。引き続き、ホームページ等でふるさと納税などを活用した寄附募集PRを図る。			a
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

〈総合判定〉

指標判定	-	連携状況	○	総合判定	やや遅れている
		緊急性・優先性	-		
		その他の統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(-)

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	道民共有の貴重な財産である「赤れんが庁舎」の積極的な活用を図るとともに、歴史文化・観光情報の発信施設として魅力向上を図るため、重要文化財として適切な保存修理工事等を行うとともに、展示等の整備や指定管理者制度の導入を進める。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書	施策名	赤れんが庁舎の利用促進	施策コード	0106
-----------------------	-----	-------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見
									本庁	出先機関	人工計		対応 方針 番号	方向性	
0301		一般	庁舎等維持営繕費 (赤れんが庁舎改修事業)	赤れんが庁舎の改修に係る事務	財産課		1,740,747	124,089	2.5		2.5	1,760,347	①	改善(取組分 析)	
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
計						0	1,740,747	124,089	2.5	0.0	2.5				